

岐阜県代協ニユ

平成29年12月
vol.273



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

『会長挨拶』

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

あぜち まさはる

会長 畦地 正治

2017年も残すところあと一週間となり、今年は例年と比べて冬の到来が早く、風花が舞い、寒さひとしおに感じられる年の瀬です。今年もいろいろなことがありましたが、皆様様の多大なご支援、ご協力をいただき、無事一年を過ごせましたこと大変感謝いたしております。迎えます年も、皆様様のご支援、ご協力をお願いいたし、岐阜県代協会員の皆様のご研鑽と、岐阜県代協としての各委員会や支部の一層の輪をもった活動で、職業団体として足腰の強い岐阜県代協を目指して、2018年を迎えましょう。



さて、年末には大掃除やしめ縄を飾ること、大晦日は除夜の鐘や年越しそば、年始にはおせちを食べることや初詣など沢山の行事があります。子どもの頃から当たり前のように行っていたので、特に意識せず年末年始の行事をしてきました。まず、年末になると多くの家庭が大掃除を行います。なぜ日本では年の瀬の寒い時期に手の込んだ掃除をするのでしょうか。

それは大掃除には一年のすず払い、新年に年神様を迎える準備をするという意味があり、平安時代にはすでに行われていたそうですが、江戸時代に江戸城で12月13日に「すず払い」を行う決まりがあり、現在も12月13日に「すず払い」を行うところは多く残っています。

また、多くの家の玄関にしめ縄やしめ飾りが付けられています。これも昔から当たり前のように見かける光景です。しめ縄は神様がいらっしゃる神聖なところと、わたしたちがいる現世とを隔てるものであり、しめ縄の形を変え、飾りをつけたものをしめ飾りといわれています。

しめ飾りには、清らかな心で1年を過ごせるよう願いを込められた裏白、代々家が栄えるように願いを込められた橙、神様がいらしてることをお知らせする紙垂などそれぞれに意味があり、しめ縄やしめ飾りの意味を知ることによって年末の大掃除にも力が入るのではないのでしょうか。普段より丁寧に掃除をして、気持ちよく新しい年を迎えるのもいいかもしれません。

そして、迎えた大晦日。大晦日の最後に掃き掃除をすることを「掃き納め」と言います。元日は“福を掃き出す”ことになってしまうので、掃除を避けるのが習いで、大晦日のうちに室内や家の周りを掃除しておきます。大晦日の夜にお風呂に入ることを「年の湯に入る」といい、1年を振り返りながら垢を落とします。家も体もきれいにし、家族揃って年越しそばを食べ、一年の出来事に思いを馳せる頃に聞こえてくるのが除夜の鐘。

もちろん過ごし方は人それぞれですが、大晦日にしか出来ないことをして、一年を振り返り、行事の一つ一つの意味を考え、新しい年を迎えてみるのはいかがでしょうか。

みなさま良いお年をお迎えください

- | | | |
|--------------------|--------------------------|------|
| 1 p・・・会長挨拶／目次 | 8 p・・・中さんの保険諸国漫遊記 (140) | ① |
| 2 p・・・スケジュール／事務局より | 9 p・・・～保険ジャーナリスト | ② |
| 3 p・・・支部活動報告① | 10 p・・・中崎章夫 | ③ |
| 4 p・・・支部活動報告② | 11 p・・・『街道シリーズ』(飛騨街道 12) | 松尾 一 |
| 5 p・・・委員会報告 | 12 p・・・提携事業者広告掲載① | |
| 6 p・・・会員投稿 | 13 p・・・提携事業者広告掲載② | |
| 7 p・・・代理店紹介 (岐阜支部) | 14 p・・・提携事業者広告掲載③ | |
| | 15 p・・・賀詞交歓会案内／新入会員紹介 | |

スケール/事務局より

～ スケジュール ～



日付			主催	行事・議題・内容など	開催場所
11	19	日	西濃	経験交流会(14:00～一泊)	愛知県蒲郡市方面
	22	水	企画環境	提携事業者交流会(18:00～)	グランヴェール岐山
	28	火	県代協	選挙管理委員会(13:30～)	岐阜県代協事務局
12	4	月	組織	委員会(11:30～)	
	6	水	西濃	例会(11:30～)	大垣 五右衛門
	6	水	県代協	理事会(13:30～)	岐阜市長良川防災・健康ステーション
	12	火	中濃	例会(10:30～)	中山道 太田宿
	12	火	飛騨	例会(11:30～)	損保ジャパン日本興亜 高山支社
	13	水	岐阜	合同ブロック忘年会(18:30～)	銀座八丁
	15	金	東濃	研修会、例会(15:00～一泊)	クアリゾート湯舟沢
1	10	水	西濃	例会(11:30～)	大垣 五右衛門
	11	木	飛騨	例会(13:30～)	損保ジャパン日本興亜 高山支社
	12	金	中濃	新年会(18:00～)	昇月
	16	火	県代協	賀詞交歓会	グランヴェール岐山
	18	木	東海ブロック	教育委員会(15:00～)	愛知県代協事務局
	19	金	西濃	新年会(18:00～)	一天張
2	9	金	飛騨	新年会(19:00～)	田辺旅館
3	9	金	CSR	地震保険普及キャンペーン	各支部

～ 教育委員会&事務局より ～

● 岐阜県代協事務局 年末、年始の営業日について

年末 平成29年12月29日(金) 午前まで 年始 平成30年1月9日(火) より
ご迷惑をお掛け致しますが、よろしくお願い申し上げます。

< 急用の方は 090-3568-0415 森 まで >

★ 損害保険大学課程 コンサルティングコース(2018年4月～2019年3月コース) 申込受付中です。

(申込受付期間 2017年12月1日～2018年2月16日)

「損害保険大学課程 専門コース」の認定取得者が同コースで習得した知識を踏まえ、お客様のニーズに応じたコンサルティング行うことができるように、より実践的な業務スキルを習得するためのコースです。ぜひ皆様の受講をお願いいたします。

概要は日本損害保険協会ホームページ「損保代理店試験サイト(<http://www.sonpo-dairiten.jp/>)よりご確認ください。

または岐阜県代協教育委員、事務局までご連絡いただければ、教育プログラム募集要項をお送いたします。

岐阜県代協事務局

TEL : 058-329-0050 FAX : 058-329-0040

Eメールアドレス : gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp (担当: 小川百合子)

支部活動報告

【岐阜支部 12月活動報告】

○岐阜支部 12月役員会報告

開催日時 : 平成29年12月13日(火) 17:30～ 開催場所 : ワシントンホテルプラザ
参加者数 : 8/16名 報告者名 : 井戸貴之

《議題》

① 2月岐阜支部合同ブロックセミナーの件

講師をお招きし、セミナーを開催いたします。日時、場所は未定ですが期待できるセミナーですので他支部の会員の方にも是非参加いただきたいと思いますと考えております。

② 次年度役員選定について

③ 県代協より報告 CSR委員会より・・・3/9 地震保険普及キャンペーン岐阜駅前夕方5時頃よりチラシ配りを行う予定。
組織委員会より・・・2月会員増強キャンペーン。

※次回役員会 平成30年 1月16日(火) グランヴェール岐山にて開催予定。

○岐阜支部合同ブロック会忘年会開催報告

開催日時 : 平成29年12月13日(火) 18:30～

開催場所 : 銀座八丁 参加者数 : 54名

今年1年の疲れを癒すべく、大人数で大変盛り上がりました。ご参加いただきました会員の皆様、保険会社社員の皆様、本年も大変お世話になりました。

引き続き来年も岐阜支部を盛り上げていきますので何卒ご協力の方よろしくお願い致します。

【西濃支部 12月例会報告】

○西濃支部経験交流会報告

開催日時 : 平成29年11月19日(日) 14:00～

開催場所 : 三河蒲郡・・・三谷温泉海陽閣泊

参加者数 : 13名+2名



初日は近県ということもあり大垣14:00出発で現地直行でした。二日目は無量寺(がん封じ寺)参拝後、蒲サ食品にて蒲鉾工場見学。後、蒲郡オレンジパークを見学し昼食。

昼食にはファブリカの平野さん、安江さんもご参加いただき、歓談しました。楽しい二日間でした。

○西濃支部 12月例会報告

開催日時 : 平成29年12月 6日(水) 11:30～

開催場所 : 大垣「五右衛門」

参加者数 : 16名

報告者名 : 中河 美智彦

《議題》

① 11/19～20 西濃支部研修旅行の参加御礼

② 委員会報告

・企画環境・・・「注意喚起文書」送付について(予定より遅れている。)

・11/22(水) 提携事業者交流会参加御礼

・広報機関誌・・・特記なし

・CSR・・・11/9 消費者団体情報交換会報告(畦地会長、小林副委員長参加)

・組織・・・12/4(月) 委員会開催報告(現正会員数226店を増強させるための協力依頼)

・教育・・・コンサルティングコース募集開始、損害保険トータルプランナー資格更新について

・県代協・・・平成30年度役員改選について

(11/28 選挙管理委員会開催について 野村副選挙管理委員長より報告)

③ その他・・・1/19(金) 西濃支部新年会 一天張支店(会費一人 5,000円)

・「マツモトキヨシ」(ドラックストア) が生命保険販売開始

※次回例会 平成30年 1月10日(水) 大垣「五右衛門」

【中濃支部 12月例会報告】

開催日時 : 平成29年12月12日(火) 10:30～ 開催場所 : 太田宿
参加者数 : 8名(出席率25%) 報告者名 : 福地 誉

《議題》

- ①委員会報告 ・組織・・・県全体で会員増強目標15店。2月に会員増強キャンペーンを行います。
国民年金基金目標2件のうち、あと1件。
 - ・CSR・・・3月9日(金)地震保険普及キャンペーンを行います。会場と開始時刻は決定次第、皆さんにお伝えしますので、御協力お願いします。
 - ・広報機関誌・・・テレビCMに代わる新たな広告方法を検討してゆく。
トータルプランナーの新聞広告は継続してゆく。
トータルプランナーIDカードの作成について、今後検討してゆく。
- ②選挙管理委員会からの報告。
- ③支部の新年会を1月12日(金)18時より、美濃加茂市の昇月にて行います。
- ④1月16日(火)ホテルグランヴェール岐山にて18時より、賀詞交歓会が行われます。

※次回例会 平成30年 2月13日開催予定

【東濃支部 12月例会・研修会報告】

開催日時 : 平成29年12月15日(金) 15:00～
開催場所 : クアリゾート湯舟沢
参加者数 : 18名
報告者名 : 安江 努

〈研修会内容〉

講師 : 山本法律事務所 山本 亮 氏
テーマ : 「交通事故法律セミナー」

〈例会内容〉

- ・各委員会からの報告。
- ・東濃支部次期役員について。
- ・選挙管理委員会(勝野さん)からの報告。
- ・平成30年賀詞交歓会について。



※次回例会予定 1月11日(木) 11:30～ みわ屋にて

【飛騨支部 12月例会報告】

開催日時 : 平成29年12月12日(火) 13:30～ 開催場所 : 損保ジャパン日本興亜
参加者数 : 11名(役員9名 会員2名) 報告者名 : 清水 公男

《協議事項及び連絡事項》

- ・損害保険大学課程コンサルティングコース申込み(受付期間2017年12月1日～2018年2月16日)
- ・公平でない自動車保険(任意保険)募集の件・・・ホームページからダウンロード可
- ・トータルプランナー新聞掲載について・・・平成30年2月24日(土)掲載予定
- ・岐阜県代協総会日程・・・平成30年5月16日(水)、17日(木)あたりを予定
- ・平成30年度 新役員の内
- ・新年会 日程・場所確認・・・2月9日(金) PM7:00～ 田辺旅館に変更

- 《委員会報告》 ・企画環境・・・不正広告などの対応について 取締りはできないが、注意喚起はできる(日本代協より回答) 問題の店舗については、保険会社より指導が入った。
- ・CSR・・・こども110番の家チラシが12月号に入る。1～2月に献血キャンペーン。
 - ・広報機関誌・・・会員証について(1500円 トータルプランナーの人のみ)
日本代協 動画(YouTubeで流れる)2月6.9.13日
2月2日ラジオで放送。

※ 次回開催予定 2月14日(水) 13:30～ 損保ジャパン日本興亜高山支社3F

委員会報告

【CSR委員会】 ★献血協力をお願い

本年末にあたりCSR委員会事業の一つであります献血へのご協力のお願いを申し上げます。赤十字血液センターによると寒さのために外出を控えることや、献血者自身が風邪などを引いたりして体調を崩すことが多いため、毎年冬の時期から春先まで献血者数が減少する傾向にあるとされています。

また年末年始や年度替わりの時期にさしかかるため、学校や企業、団体などの協力も得られにくくなることも要因の一つとされています。

さらにこれからのインフルエンザの流行期によって、血液の確保が困難であることが予想されるとの事です。

こうした状況下でも、輸血用血液を必要としている患者さんの数は通常と変わりありません。助け合い、思いやりのこころは献血で広がります。会員皆様のご協力をお願い申し上げます。



代協ニュースを郵送の会員皆様には岐阜県赤十字血液センター献血のお願いチラシを同封させていただきますので裏面にあります献血協力申込用紙にご記入の上、献血会場受付スタッフの方にお渡しください。またメール配信、ホームページにて代協ニュースをご覧の会員のみなさまは

岐阜県損害保険代理業協会 団体コード28-02303

を受付スタッフの方にお伝えください。

(CSR委員会 松山 和由、高橋 励)

【企画環境委員会】 ★提携事業者交流会開催報告

11月22日水曜日、グランヴェール岐山にて第2回提携事業者交流会を開催させていただきました。岐阜県代協と事業提携していただいている企業との連携をより深め、効果的な利用を促進し、会員顧客へのサービス向上の一助となるべく目的で参加をいただきました会員様には提携業者各社との交流を進めていただき、改めて提携内容を認識していただけたと思います。

また、提携事業者各社様にも代協会員との交流を進めていただけたことと思います。各提携事業者様には確認のために事業内容を簡単に説明していただきましたが、各社持ち時間3分から5分ほどの短い時間という制約の中でしたので、説明するにはかなりむずかしかったかもしれません。

これから継続的に開催できるかどうかを、内容、開催時期なども含めて、今後企画環境委会で検討していきたいと思います。

(報告者 企画環境委員長 水野 一利)



会員投稿記事

「熊手」

初詣、商売繁盛を願い豊川稲荷へ30年近く参拝に出かけています。熊手を毎年購入し、祈願をして、翌年にまた熊手を納めに行きます。

熊手は福をかき集めるという意味の縁起物です。小さなものから大きいものがありますが、毎年できるだけ大きな熊手を購入してきます。熊手の中でも飾りの配色や配置が少し異なるので、自分なりに縁起を担ぐものにふさわしい熊手を選んでいきます。

先日、NHKの『サラメシ』という番組で兄弟5人が職人で熊手を作っている映像が放送されているのを見ました。1年かけて作っている。熊手のアイテムには意味がある。フクロウは苦労知らずの意味などあるそうです。職人の手作りで兄弟5人の意気込みを感じさせられました。府中にある大國魂神社の酉の市で販売されている熊手を購入するのも魅力を感じました。

2018年 よいお年をお迎えください。

(投稿者 小倉 治実)



【熊手職人 豊川稲荷】



【熊手職人 朝倉】

代理店紹介

岐阜支部 株式会社ライフワーク

<代理店名>

株式会社ライフワーク

<所在地>

〒500-8227

岐阜市北一色 2-5-19 2F

Tel 058-215-0110

Fax 058-215-0133

E-mail goto@t-life.work



<代表者>

後藤 哲裕

<スタッフ>

3名(男性 2名 女性 1名)

高橋賢二、大野亜貴子

<取扱保険会社>

損保 東京海上日動火災保険(株) 計 1 社

生保 東京海上日動あんしん生命(株) 計 1 社

<略歴>

平成29年 設立

<事務所の環境>

岐阜市郊外の岐阜東バイパスR156沿いに位置し
各方面にアクセスしやすい環境になっております。



<経営理念>

- ・お客様の家庭生活・企業経営にあんしんをお届けします。
- ・社員一人ひとりが最大限の能力を発揮できるよう知識やサービス品質の向上に努めます。
- ・地域社会のお役に立ち、信頼される事業活動をしていきます。



2017年の保険・代理店業界を振り返る

一 品質重視、顧客本位とデジタル社会化への対応が鋭く問われた年

◇好物ステーキも食べ過ぎは禁物

12月は私の誕生日ということで、1日に家族と柏のいきなりステーキに出かけた。肉マイレージカードプラチナカード会員（累計20キログラム食べるともらえる）向けにはバースデイプレゼントとして好みの部位のステーキ300グラムを「プラチナステーキ」の呼び名で無料で提供してくれる。

早速、この権利行使と相成った。ヒレステーキ（米国アンガス牛）300グラムを選んだが、なかなかの厚みがあり、まさに肉版のエアーズロックの様。他にいつも通りワイルドステーキ（米国アンガス牛肩ロース）を450グラム頼んで食べた。かみさんからワイルドステーキ約150グラムほど分けてもらい、合計900グラムすべて平らげたが、さすがにおなか一杯、充実感はマックス。というわけで夜は、軽めに済ましたが、翌朝、変調をきたした。腹が不具合、下痢してしまう。

「驚異の胃袋」などと言われ、調子に乗ってはいたが、やはり食べすぎで消化不良を起こしたようである。翌土曜の朝から夕方までのエクササイズ（ピラティス、ズンバ、ボクササイズ、フラダンス、バレトン、クロール）のころには回復したが、食べ過ぎは禁物だと改めて思った。

◇どう健康で自分の意志で暮らせるか

人生70年も生きる人は昔は稀だったのだろう。数えて70を古希（希）というが、その由来は、中国の唐の時代の詩人杜甫が読んだ「酒債は尋常行く処に有り 人生七十古来稀なり」（酒代のつけは私が普通行く所には、どこにでもある。しかし七十年生きる人は古くから稀である）から来ている。

自分がその年齢になってみてもピンとこない、それもそのはず今や日本の男性の平均寿命は80歳、女性は86歳というから当然か。70歳までは働けるものは働くことが求められる世の中だからだ。

この12月6日、そういう私も古希の年齢となったが、老境とは程遠く面食らう。どれだけ長く生きるかばかりでなく、問題はどれだけ健康で自分の意志で暮らせるかだろう。

その意味では、エクササイズで体を磨き、肉を鱈腹食べられるのも、理にかなっているということか。有難いことにこれまで入院した経験もないし、65から、長年お世話になってきた近眼の眼鏡が運転中も要らなくなった。クロールも1キロ半が楽々泳げるようになった。いきなりステーキの肉マイレージに現を抜かずほど食欲も旺盛である。歳をとるとは劣化、機能低下、衰えばかりではない、微妙なバランスが存在することを知る。これも人生か。

◇2017年は「顧客本位とデジタル化」

2017年を振り返ってみると、自動車保険料率の引き下げや日本列島を串刺しに襲った台風18号、米国を襲った空前のハリケーン損害の損保決算へ影響などもあったが、何ととっても、強烈だったのは、改正保険業法を受けて、金融庁が打ち出した方針、とりわけ顧客本位の業務運営の7原則とそれに対し、保険会社、代理店ともに自主的に具体的対応を迫られたことである。それと第4次産業革命と言われるデジタル社会化が保険業界にも押し寄せ、具体的に多様な形でインパクトを与え、消費面、サービス面、のみならずビジネスモデルの変更すら日程に上ったことだ。主な項目を見てみよう。

◇金融庁が打ち出した顧客本位の業務運営7原則への対応

金融庁が昨年の基本方針で打ち出した顧客本位の業務運営は、本年1月には7原則として打ち出され、それを受けて、各金融機関、保険会社、代理店がそれをいかに消化し、対応するかに明け暮れた。金融庁はまた検査局と検査マニュアルを廃止するなど監督・検査の在り方を統合、一新させるとともに、実質、未来、全体志向のスタンスを明確にするとともに、ルールベースからプリンシプルベースへの転換、従来のミニマムルールをクリアすればよいのではなく、ベストプラクティス（好取組事例）を提起するなど新機軸を打ち出した。

◇代理店の実態調査の実施と手数料ポイント問題など業界への問題提起

保険代理店に対するヒアリング調査や追加調査を実施するとともに、その結果を規模別・業務特性別に好取組事例（ベストプラクティス）紹介として提示したり、9月の金融各業界との意見交換会を相次ぎ開き、損保協会についても金融庁等に寄せられた代理店の声や国会の場での審議を踏まえ、代理店手数料ポイント問題と代理店乗合承認問題について、代理店からのヒアリング調査に基づく気づきを提起する形で、保険会社に対して代理店との当事者間での話し合いが基本としつつも、気づきという形で検討課題を提起したのが注目される。

◇品質重視と代理店手数料問題

損保会社も代理店も顧客本位の業務運営という観点に立ち、改めて制度運営の透明性が求められている。手数料ポイント制度については営業第一の規模や増収率偏重、「量」重視路線から、「質」重視、品質重視路線への転換が求められている。損保各社も今後これを踏まえ品質重視の安定的な手数料ポイント制度を検討していくことに向かうのは必至だ。その際、一定規模以上（例示では3名、収保1億）であることが業務品質として評価していく余地があるとし、小規模代理店でも品質を保証するにはガバナンスを効かせた経営体である必要があることを示唆し、ポイント制度とは別に高齢化した小規模代理店については契約者保護の面で体制整備上早急な対策をとる必要を指摘するなど、双方に代理店品質強化の取り組みを促すものとなっている。

また乗合認可問題についても、保険会社に、乗合を巡る手続きの透明性の確保や諾否に対する代理店に対する明確な説明を促すものとなっているが、乗合を求める代理店も合理的な理由を明確に伝えたり、忠実義務を堅持する姿勢を示したり、乗合に伴う体制整備を明確に示すなどの主体的な努力も必要だろう。

◇営業本位から顧客本位への営業政策の転換

顧客本位のサービス品質をより重視した手数料制度への転換が求められる中、各社とも独自性を保ちつつも過度な販売支援を内容とする営業慣行廃止、募集品質重視への具体的な検討に着手しだしている。生損保両業界で2～3月販促用のノベルティ基準の見直し、自主基準の作成もその一環。

生保業界では、例えば、大型保険ショップに対する前倒し手数料の一括払いやボーナス、特定商品の販売実績に応じて手数料を上乗せするキャンペーンや、手数料を上乗せするボーナスなどの過度な販売促進策や便宜供与（特定の代理店への表彰・研修名目の内外旅行提供や広告費や協賛金）などの行為を来年度から自主規制で廃止する方向でのガイドラインも打ち出されるなど、大きな営業政策転換の舵がきられる年となったことは印象深い。

◇自動車保険料率の引き下げ決定

損保最大種目の自動車保険でも大きな動きがあった。損害保険料率算定会が5月、交通事故の減少を背景に、14年ぶりに参考純率を約8%引き下げたからだ。これを受け、損保各社は自動車保険の保険料を2018年1月から2～3%を引き下げる。自動ブレーキなど安全装置の普及で事故が減り、保険金の支払いは減少傾向にあるなど、収益が改善している分を保険料に反映させる。各社とも人件費など経費等を勘案し、また2019年10月予定の消費増税が保険料引き上げ要因となるだけにこの要因をどう見込むかの判断次第で引下げ幅に差が出てきそうで、競争が熾烈化しそうだ。

◇18号台風は各地で被害

2017年は、各地で自然災害が相変わらず頻発した。7月に発生した九州北部豪雨をはじめとして、大雨による被害が相次ぎ、9月中旬の台風18号は、史上で初めて、日本列島を串刺しにするように縦断、九州・四国・本州・北海道の四島すべてに上陸し、各地に大きな被害をもたらした。後に気象庁は北海道上陸時には温帯低気圧に変わっていたと訂正した。火災保険を中心に、車両保険、新種保険など、総支払件数約4万5千件、保険金支払総額236億円（9月29日現在）となった。

◇デジタル社会化に伴い新保険商品・サービス開発が活発化

ITなどの先端技術を生かしたデジタル社会化の動きの目を大きな潮流として多様な分野で具体的な動きが進んだ。IoT、AI、ブロックチェーン技術、ビッグデータ、スマホのエコシステムなど先端技術を活用した新たなスタートアップ企業の活動が活発化し、自動運転、ビットコイン（仮想通貨）、再生医療、シェアリングエコノミー、サイバーリスク等の分野で新たな展開が相次いだ年となった。このような新技術や新ビジネスの立ち上げに伴い、新たなリスクカバーが求められ、保険業界も商品開発面や新たなリスク管理サービス面で新商品・新サービス開発が相次いだ。

◇加速するインシュアテックの流れ

またこうした中で、従来の金融サービス、保険サービスの在り方も根底から問い直されつつある。金融ではFinTec、保険ではInsurTecの潮流がそれだ。

自動車保険分野では、ドライバーの運転特性をスマホアプリで管理する個人向けのテレマティクス保険の開発も国内損保で具体化したし、ワランティーが家財保険分野で、損保大手3社と組んで一日単位のオンデマンド型保険の開発・販売を開始するなど、さらには、スタートアップ企業ジャストインケース（少短事業者を申請中）が新たなモデルとしてP2P（仲間）保険というシェアリングエコノミーの保険版のようなスマホ保険の開発の動きも出てきた。

◇代理店に求められる革新的な業態開発

まさに、こうしたデジタル社会化の動きは、代理店のビジネスの在り方にも今後大きくかかわってきそう。少なくとも売り手の論理で量的なサイズを追い求めるビジネスモデルではもはやだめで、顧客本位を徹底させ、品質面での優位性を確保することが肝要になった。垂直型ピラミッド型の組織ではなく、緩やかな水平型のネットワーク力こそが求められて来ている。

人のネットワーク産業としての代理店にとっては、顧客の困りごと等を的確にくみ取り、個々のユーザーの個性、多様性、共感、つながり力などをキーワードに、生活支援業、事業経営支援業としてどのような役割が担えるのか、またサービス品質を向上させ、付加価値戦略を展開するためにどのような展開が可能かが、問われた年となったことは確かだ。

◇「顧客を守るのは足元から」

こうした中で、保険代理店に勇気を与えるニュースもあった。北九州のトップ保険サービスが2017年度日本経営品質賞中小企業部門の本賞を受賞するという素晴らしい栄誉に輝いたからだ。

<http://www.top-hoken.com/>

<http://www.igac.com/>

このトップ保険サービスのビジネスモデルは、いろんな意味で型破りかつ骨太の顧客を守り抜く展開ぶりが際立っている。

保険販売業ではなく問題解決支援業を地でいく展開をしている。地域の顧客の満足度、信頼度は高いし、毎年多くの採用希望者が門をたたき、事故の現場対応を基本とした顧客を守り抜く理念の実行は骨が折れることでもあるが、風通しの良い社風の下、一生懸命働く28名のスタッフの意気はすこぶる高いし、当然、その生産性（一人当たり手数料）水準も高い。

保険会社依存度の高い代理店産業界にあり、いち早く自立・自律のスタンスで、事故対応を本業と位置づけ顧客を守り抜く独自の姿勢を貫き、そのための自動車事故のみならず火災やPLなど新種保険でも現場対応を行うなど質を重視した事故対応力や相談力強化に取り組み顧客に喜ばれている。とりわけ法人顧客層向けには、リスクシミュレーションをはじめ安全研修などリスクマネジメントサービスメニューを多面的に用意し展開してきているのは注目される。また顧客を守るという考えは、一企業の取り組み、地域という枠を超え、同じ志の多くの代理店と手を組み協力しながらシールズという全国規模のネットワーク展開もとっている。

顧客の盾になり、事故対応を本業とし、チーム一丸で、徹底的に顧客を守り抜く、という同社のスタンスは、これからの代理店の進むべきひとつの方向性を示唆しているといえるのではないかな。

（保険ジャーナリスト、inswatch 編集人）



金山から飛騨に入り、下原へ 「山中七里」

飛騨街道は、尾張藩の金山役所（川並役所）を置いていた金山の中心地、泉町、本町を通ると益田川ともいわれていた飛騨川に合流する馬瀬川に架る境橋に出ます。文字通り飛騨と美濃の国境だったから名付けられた橋です。

かつて、このあたりにあった渡しを渡って馬瀬川を渡り飛騨に入ったのです。ここは、どちらの岸が飛騨か美濃かという論争があったところでもあります。

さて、江戸時代の飛騨は当初高山藩金森氏の支配でしたが、元禄5年（1652）、金森氏が出羽に移封となり、その後は通称「天領」といわれている幕府領となったのです。

天正13年（1585）、金森長近が秀吉の命令で越前から飛騨に侵攻、三木氏を滅ぼし平定しました。



（美濃側から見る境橋、この付近に渡し場があった。）

この功で、秀吉から飛騨一国を与えられた長近は、飛騨川沿いの金山から下呂までの街道を改修しました。それまでのルートは、金山、大船渡、和佐、夏焼、宮地、乗政、初矢峠から下呂と、山間部を東に大きく迂回していたのです。

改修された飛騨川沿いの飛騨街道は、景観もよく、文化人に好まれており漢詩などでも歌われ「中山七里」と言われるようになりました。金山・下呂間が7里（約28キロメートル）ほどあったからです。



（飛騨川と馬瀬川の合流点）

それはともかく、飛騨に入った飛騨街道は、これから下呂、萩原、久々野と、深い谷底のような飛騨川に沿って上っていきます。いかにも飛騨街道らしくなっていきます。

さて、金山から馬瀬川を渡って飛騨に入ると、すぐ、下原に着きます。

現在、JR高山本線の特急がこのあたりを通過する時、車掌が中山七里のことをアナウンスしており、乗客が景観を楽しんでいます。春には、清らかな飛騨川沿いに赤い花を咲かせた自生するサツキが、断崖絶壁にへばりつくように咲いているのが見られます。

しかし、金森氏による改修は大変だったようで、特に保井戸が難工事だったと言われています。また、江戸時代を通じて度々、改修されています。といっても、荷物を積んだ馬や牛がやっとという3尺（1約メートル）ほどという道幅で、しかも飛騨川沿いの断崖絶壁を通るところもありました。

（まつお・いち） ライフワークは地域史（近世交通史）。

著者は『岐阜地理・地名・地図の謎』（監修・実業之日本社）、『写真アルバム飛騨の昭和』（監修・樹林舎）など。

岐阜県代協会の皆様、当社はオリックスレンタカー店舗を運営しております株式会社タカサワと申します。
代車でご困りの際には、是非とも当社のレンタカーサービスをご利用ください！



メーカー系レンタカー会社ではないので、車種も豊富！

- 国産全メーカー・輸入車・特殊車両(冷凍車・福祉車・各種トラック)の豊富な車種の取扱いがあります。
店頭在庫がなくても、グループ内の豊富な車両の中からご要望に添えるお車をお探しします！

お急ぎの案件でも、迅速にご手配致します！

- 突然の事故… 代車を一刻も早くお客様の元へ手配しなければ…
そんな時はお任せ下さい！配車スタッフの多い当社なら迅速にご手配させていただきます！
もちろん土・日・祝日のご対応もお任せ下さい！
- 工場様へのお届けはもちろんのこと、お客様ご自宅や事故現場へのお届けにも対応させていただきます！

車種・料金などお困り案件承ります！

- 車種と料金が見合わないと思う場合でもご相談下さい。豊富なラインナップよりご提案いたします。
- 代車特約など料金上限がある場合でもお気軽にお問い合わせ下さい。ご相談いたします。

代車でご困りの際、まずは岐阜県最寄り店舗へご連絡下さい！

- 岐阜県・愛知県はもとより、全国のネットワークからご手配致します。

株式会社タカサワ 東海地区オリックスレンタカー店舗一覧

愛 知 県	① 金山駅前店	⑤ 名古屋駅太閤通口店
	② 春日井店	⑥ 小牧豊山店
	③ 一宮店	⑦ 刈谷店
	④ 津島店	⑧ 岡崎店

岐 阜 県	⑨ 岐阜店	TEL 058-268-6543	岐阜市安良田町5-9
	⑩ 大垣店	TEL 0584-93-0543	大垣市長松町小柳1215-2
	⑪ 多治見店	TEL 0572-21-0543	多治見市若松町1-9-1

お客様満足度 93% の実績

引取納車東海3県下

▶ **ご指定の場所にお伺い。**

PCや携帯で進捗状況が確認できる

▶ **「目に見える」安心サポート。**

お客様より絶賛されています

▶ **永久保証で安心のアフターサービス。**



無料代車
120台以上

お電話1本で簡単手続き。安心スピード対応。



0120-102-595

24時間
対応

鍍金・塗装
fabrica

事前にサービス登録が必要となります。ご登録がお済みでない代理店様はお気軽にお電話ください。

J-net レンタリース株式会社
本社所在地 名古屋市東区東桜1-5-7
TEL : 052-963-8231



レンタカー店舗 岐阜県 8店舗		
Jネットレンタカー	岐阜駅前店	058-274-0582
Jネットレンタカー	大垣店	0584-93-4154
Jネットレンタカー	多治見店	0572-21-2543
Jネットレンタカー	関店	0575-21-7557
Jネットレンタカー	中津川駅前店	0573-65-1154
Jネットレンタカー	岐阜羽島駅前店	058-391-0154
Jネットレンタカー	下呂温泉案内所	0576-25-3005
Jネットレンタカー	飛騨高山駅前店	0577-35-2722

※その他愛知県14店舗、
三重県5店舗など直営店・
フランチャイズ店含めて
40都道府県にて展開中
(平成29年・6月末時点)

メーカー・排気量・使いやすさ・環境への配慮をした普通車からワゴン車・輸入車・
福祉車両まで、様々な車種をご用意しております。

多種・多様なニーズに応えるために、一人一人がおお客様の立場にたった素早い行動を心がけます。

レンタカーのご用命は、是非Jネットレンタカーへ！

SHINWA グループ こんにちはSHINWAグループです！

先日は岐阜県代協様主催の提携事業者交流会の開催、誠にありがとうございました。

日頃作業服で現場を動く私としては皆様の前でお話するのは大変緊張するものがありましたが、皆様に少しでも当グループのサービスが伝わればと頑張りました！

さて、本格的な冬の到来です。事故修理においては保険修理、自費修理も増加の予測です。当グループの代車は200台以上、もちろんスタッドレスタイヤ装備の代車もございます。修理代車は基本無料ですので、最寄りのSHINWAの工場に是非お問合せください。

また、事故以外も冬には車にとって天敵とも言える錆が発生しやすい時期です。融雪剤、凍結防止剤は基本塩分ですので錆の進行度合は半端ないです。そんな錆から愛車を守るのが塩害ガードと言う下廻りの錆防止塗料です。車検時等に塗装するシャーシブラックとは違い非常に肉厚のある防錆塗料です。当グループの工場でするので是非お問合せください。



本年も一年岐阜県代協の皆様には本当にお世話になりました。また来年も皆様と共に良き年になる様、頑張っていきたいと思っております。

 SHINWAグループ

岐阜県の自動車钣金工場なら県下13拠点のSHINWAグループ

事故、修理等で困ったことがあればお近くのSHINWAグループ提携工場へ是非ご連絡ください！

ホームセキュリティの新提案

HOME ALSOK
みまもりサポート



安心を高齢者の皆様へ



ALSOK 日本ガード株式会社

本社：岐阜市茜部中島2丁目66-6
URL：http://www.nihonguard.co.jp

電話：058-274-0110
e-mail：eigy@nihonguard.co.jp

ダメージカー(事故車・中古車)のご売却はタウにご相談ください

査定無料・迅速対応 ▶ 抹消・名義変更も確実 ▶ 車両の引取・処分も無料

タウがダメージカーを高価買取できる理由

世界には、事故や故障で壊れてしまったダメージカーを元の姿に修復し、再利用する文化が根付いた国々があります。タウは、このようなダメージカーに対する旺盛な需要が存在する世界100ヶ国以上に販売マーケットを拡大してきました。

世界中のダメージカーマーケットを把握しているからこそ、「ダメージカーの高価買取」が可能なのです。



株式会社タウ 名古屋支店 TEL:052-930-6711 FAX:052-930-6712
愛知県名古屋市中区葵1-19-30 マザックアートプラザ10F E-mail:NAGOYA@tau.co.jp

TAU
www.tau.co.jp

●本社：さいたま市中央区新都心11-2 LAタワー10F ●事業内容：事故車・中古車、自動車部品、ボート等の買取・販売・輸出
●資本金：1億円 ●従業員数：336名(2013年9月末) ●売上高：156億円(2013年9月期)
●ネットワーク：札幌、盛岡、仙台、水戸、高崎、埼玉、千葉、西東京、横浜、金沢、浜松、名古屋、大阪、神戸、広島、高松、福岡、熊本/プリズベン、ウラジオストク、ドバイ



★平成30年 賀詞交歓会 開催案内★

既に FAX にてご案内申し上げましたが、下記の通り平成30年賀詞交歓会を開催いたします。保険会社各社、賛助会員の皆様、会員の皆様のご出席を賜り、30年のスタートにいたしたいと存じますので、是非ご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

日 時 : 平成30年 1月16日(火) 18:00～

場 所 : グランヴェール岐山 鳳凰

※ なお、ホテル東側にありますレンガ立体駐車場
KOYOENパーキングをご利用いただくと
駐車料金の割引がございます。

その際には駐車券を機械処理のため、グランヴェール岐山フロントまでお持ち下さい。



【組織委員会】 新入会員紹介

中濃支部 : (株) 保険ショップ岐阜 代申 あいおいニッセイ同和損害保険 (株)

店主 塚原 勝重 様 〒501-3217 岐阜県関市下有知 4702-6

TEL 0575-23-7507 FAX 0575-23-6822

(平成29年12月15日入会) 紹介者 (株) 中濃保険事務所 石原壮逸

編集後記

師走、昔は「教師さえも走る忙しさ」「大晦日」「締めくくり」というイメージが浮かんだものです。でも、どのあたりからか、「クリスマス」がこの月を代表するような雰囲気になりました。元々宗教観の強い行事のはずですが、そんなことはどこへやら、プレゼント合戦の都合のいいお祭りになっています。

日本人は多宗教に関して寛容で、殉教するほど熱くなるようなこともなさそうです。それは古来、八百万の神をなんとなく崇め、万物すべてに神様がいて、というなんともユニークな文化があるからかもしれません。

最近では、ハロウィンなど、元は何であれ楽しい仮装大会！みたいなものも当たり前になりました。この勢いでは、イースターなども入ってくるかもしれません。

節操がない、と揶揄される事もありますが、いろんな事をなんとなく是として共存していく、小さな島国ならではの摩擦回避能力のようにも感じます。

いろんな国、人、立場、それらを緩く許容すれば穏やかな社会になれるでしょう。そうすれば、ミサイルなど無意味なガラクタになるに違いありません。

近い将来、各国武器庫の中身は、ただのガラクタになりますように。

(飛騨支部 清水 公男)

発行日／平成29年12月25日

責任者／畦地正治 発行／広報機関誌委員会

〒501-0204 瑞穂市馬場春雨町 1-50-2 Tel 058-329-0050 Fax 058-329-0040

E-mail : gfdaiikyo@opal.ocn.ne.jp <http://gifudaikyo.or.jp/>

【編集室メンバー】

徳永 徹、北村篤俊、水川博之、後藤信男、後藤哲裕、今津洋平、小倉治実、清水公男
畦地正治、森 信彦